

保育所等訪問支援いろは

多様な子供に育つ意欲と暮らす楽しさを集団生活の中で学ぶ支援を行います。

障害があるか無いかにとらわれず親の育てにくさに寄り添いながら発達を支援していきます。

子どもたちが将来、地域社会で活躍するためのステップ場。

特別なカリキュラムは備けず、個々の特性を活かしながら集団生活や社会性を身につけ安心した生活を送ることが大切と考えています。学校や園での関わり方や声かけの仕方について、お子さまに関わる先生方関係機関の方と一緒に考えます。

相談支援事業所しるし

気になることや困っていること、不安に感じていることをお話してみませんか？

福祉サービスを利用することで解決できるかもしれません。

困りごとや不安、これからの目標や夢を達成できる事業所を紹介し、福祉サービスを利用できるようにお手伝いします。

福祉サービスで解決できないと判断したときは、解決できる行政窓口や基幹相談事業所へご案内します。

目指すべき場所の「しるし」を決められるように選択肢を提案します。

個別療育型支援事業所くるみ

タイムスケジュール

児童発達支援

9:30～10:15

10:30～11:15

11:30～12:15

放課後等デイサービス

14:00～14:45

15:00～15:45

16:00～16:45

17:00～17:45

・毎時間2名様のご予約となります。

・40分間しっかり療育時間を確保し残りの5分間で保護者様へ報告、振り返りを行います。

**療育経験のある保育士、リハビリスタッフ、
子育て経験のある指導員による1対1の個別療育**

日常生活における基本動作、集団生活への適応方法を、お子さまの個性や特性に合わせて「社会性」「生活」「身体」「学習」の4つのテーマに分け、発達段階別にスケジュール化し、個別のカリキュラムを使用してトレーニングを行います。

思春期のモヤモヤした気持ちを受け止め、感情のコントロールのトレーニングを行います。

法人理念

「一人一価」

職員一人一人の得意、強みを発揮してチームで物事を考え取り組みます。

「語る」

- ①思うことを素直に、大胆に、明瞭に語ること。
- ②人に気兼ねしたり、人の迷惑を考えたり、その結果をくよくよ考えたりしないこと。
- ③語ることで知識を豊富にし、意思を強固にし、感情を豊かにするために大いに、語ること。
- ④真心を語るにより融和し、相敬愛するに至るものと考え、己の真実を語ること。

「孤育て」から「子育て」へ

外出先で突然の雨。

・体が冷えて風邪をひくから嫌だなあ。

・お気に入りの洋服や靴、バックが濡れるの嫌だなあ。

そんな時、「嫌だなあ」の気持ちから雨宿りや傘を買う選択をしませんか。子育て時も同じです。「嫌だなあ」の気持ちのときは他の方法を選択したらいいと思います。不適切な育児や孤育てにならないように、私たちに伝えてください。一緒にどの様にしたらいいのか考えていきます。また、ペアレントトレーニングで気持ちが楽になる子育ての考え方を学んでみませんか。